

中小企業ぐんま

平成28年中小企業実態基本調査報告書の概要(前編)

VOL.672
2017.

10



群馬県中小企業団体中央会

- 中堅リーダー研修
10月18日(水)~20日(金)
渋川市 ホテル天坊
- 中小企業団体全国大会
10月26日(木)
長野県松本文化会館
- 群馬で就職！合同企業説明会
10月30日(月)
ヤマダグリーンドーム前橋
- 女子職員研修会
11月8日(水)
茨城県笠間市

中央会フラッシュ 2
 ・組合まつり in TOKYO
 ・官公需確保対策地方推進協議会

関係団体ニュース 4
 ・群馬県中小企業団体青年協議会 夏季研修会・暑気払い
 ・群馬県中小企業団体事務局 第47回通常総会・研修会

特集 平成28年中小企業実態基本調査報告書の概要(前編) 6

会員組合インタビュー 10
 ・桐生管工事(協)
 ・渋川ガス事業(協)

情報連絡員だより 11

LAN Local Area News 12
 ・群馬県室内装飾事業(協) ・群馬県コンクリートブロック事業(協)
 ・前橋市管工事(協) ・群馬県タイヤ商工(協)
 ・群馬デリカ食品(協) ・群馬県貨物運送事業(協)連合会

TOPICS 14

インフォメーション 16

めいど in 群馬

～楽べら～ 〈表紙の写真〉

一見、アーチェリーの矢と見紛う洗練されたフォルム。鮮やかに輝くボディを持つそれが、一目で靴べらだと気付く人は少ないかもしれない。

その名も「楽べら」。製作しているのは、高崎市でプラスチック製品製造業を営む、三喜産業株式会社。

「楽べら」最大の特徴は、丸く切り取られた先端部分。このくぼみで靴のへりを押さえることで、立ったままでも簡単に靴を脱ぐことが出来る。もちろん、普通の靴べら同様、履くときにも使うことが可能だ。

この商品の原点となったのは、高崎市内の女子中学生が、靴の着脱に苦勞する祖母を見て考案した「履けるし脱げるくつべら」。このアイデアが「群馬県創意くふう作品展」において見事入賞。その後、商品アイデアを持つ起業家と、それを資金面・技術面で支援する企業のマッチングイベント「高崎モーニングピッチ」にて発表

された。少女のプレゼンに感銘を受けるとともに、今後、高齢化が進む社会において必要となる製品だと確信し、その場で同社が製品化を申し出た。

製品化に当たっては、柄の長さや先端部の形状・使用する素材等の検討を行い、1年以上の試行錯誤を経て完成に至った。特に先端部は、足や靴に傷を付けないための柔軟性と、靴べらとしての滑りやすさを両立し、使用者の利便性を考慮した作りとなっている。

祖母への想いと優れたアイデア、そして高い技術力という3本の矢で完成したこの商品。冷たいはずのステンレスの柄からは、ほのかな温かみを感じられた。三喜産業株式会社(高崎東部工業団地(協)所属) 高崎市倉賀野町2454-2 ☎027-347-2111 <http://www.miki-industry.co.jp/index.html>

